

社会福祉学科			社会福祉 専攻			
科目名: 日本語表現技法			担当教員 氏名: 佐山 朋子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	後期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
日本語を表現することは、自己表現することである。したがって、文章や会話を通して、自己の在りようが現れることから、適切に伝えるための日本語表現の基礎基本を学ぶとともに、他者との関係を豊かにする自己表現の基礎を養う。					国語力の基礎 話す力 聴く力 書く力	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7.	
A 知識・理解力			日本語の正しい使い方を身につける。			
C 論理的思考力			言葉を客観的に理解し、正しく判断する。			
D 問題解決力			問題点を的確につかみ、問題点の情報を収集し、集めた情報を正しく分析する。			
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる力を養う。			
H コミュニケーション力			言葉やジェスチャーを用いて、お互いの意思の伝達を図る。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 30 %		発表: 10 %	実技試験: %	その他: 10 %
特記事項: 上記「その他10%」では、授業態度、授業への積極性、授業中の課題の提出状況等等で評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テストレポート・発表・実技試験等の実施時期: レポート、小テストを適宜取り入れる。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 前期・後期それぞれに小テストを行い、採点返却の上、習熟度を再確認する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①アカデミックワードと日常語					【予習】60分 【復習】90分	
②仮名遣い・送り仮名・現代表記					【予習】60分 【復習】90分	
③句読点・記号の使い方・見やすい表記の仕方				ノート、プリントの見直し	【予習】60分 【復習】90分	
④あいまいな文・文のねじれ				ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑤長い文を分ける・接続表現の使い方				接続詞について調べておく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑥分かりやすい語順・結論を先に述べる				指定する資料を読んでおく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑦事実か意見か・文末に注意する				指定する資料を読んでおく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑧データの解釈 (①～⑧迄の内容の小テスト)				①～⑧迄の復習。	【予習】120 【復習】90分	
⑨敬語の使い方				敬語について調べておく。ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】90分	
⑩作成力(通信文)				ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】120	
⑪作成力(表現)				ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】120	
⑫作成力(意見文)①				ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】120	
⑬作成力(意見文)②				ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】120	
⑭レポート課題とレポートを書く順序				ノート、プリントの見直し。	【予習】60分 【復習】120	
⑮レポートの内容 (⑨～⑮迄の内容の小テスト)				⑨～⑮迄の復習。	【予習】120 【復習】90分	
使用テキスト: 必要に応じてプリントを配布する。				その他参考文献など: 「読むだけ小論文」樋口裕一 「(型)で書く文章論」西田みどり		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 国語表現力は、全ての教科の基礎となります。予習・復習を行い、日本語力を身につけてください。						